令和８年１０月９日

江別市立対雁小学校
保護者の皆様

江別市立対雁小学校
校長　田　中　豊　人

令和８年度　全国学力・学習状況調査
本校児童の状況分析及び改善策(学校改善プラン）について

初秋の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃から、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
さて、今年度４月２３日に行われた全国学力・学習状況調査の結果につきまして、保護者の皆様にその概要並びにこれからの方向性である「学校改善プラン」をお知らせいたします。
なお、今回の調査結果は、あくまでも本校６年生の学力・学習状況の一面をとらえたものであり、学力や生活の全てではないことを申し添えます。

１．学習における概要（全国・全道平均の正答率と比べています。）

対雁小学校児童の領域別理解度

教科	領　域	全道平均との比較	全国平均との比較
国	話すこと・聞くこと	やや上回っている	やや上回っている
	書くこと	上回っている	やや上回っている
語	読むこと	上回っている	やや上回っている
	数と計算	上回っている	やや上回っている
算	図　形	上回っている	やや上回っている
	測　定	上回っている	上回っている
数	変化と関係	上回っている	上回っている
	データの活用	上回っている	やや上回っている

＜国語＞
○話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる問題が大変よくできていました。
○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題が大変よくできていました。
●漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題（「不思議」)について課題が 見られました。
●筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる問題について課題が見られました。
＜算数＞
○立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる問題が大変よくできていました。
○百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができるかどうかをみる問題が大変よくできていました。
○示された情報を基に、 数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる問題が大変よくできていました。
○帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる問題が大変よくできていました。
●体積の意味について理解しているかどうかをみる問題に課題がありました。
●二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる問題の正答率が非常に低く課題が見られました。
●基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる問題に課題がありました。

２．児童質問紙調査における概要

＝学習全般に関わって＝
○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」という質問に対して、肯定的に回答した児童が 96%と全国平均を上回りました。
○「先生は、 授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」という質問に対して、 肯定的に回答した児童が 90%近くおり、全国平均を上回りました。

○学校の授業時間以外での学習時間 (平日)で、30 分以下という児童が全国平均よりも大きく下回っており、多くの児童が毎日学習する習慣が身についている様子が見られます。
●学習の自己調整力に関する質問に対する回答が昨年度の結果よりも低くなっていました。
●「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活リズムに関しては、課題が見られます。
●「５年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しました か」という質問に肯定的に答えた児童が全国平均を下回りました。
●「学習した内容について、 分かった点や、 よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」という質問に対する肯定的な回答が、全国平均よりも下回っており、学習の継続性に課題が見られました。

＝国語科に関わって＝

○「国語が好き」「国語が得意」「授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して、肯定的に回答した児童の割合が、全国平均を大きく下回る結果となり、苦手意識を持っている 児童が多いことが分かりました。
○自分の考えをまとめたり、書き表し方を工夫したりことに関する質問に対する回答が、全国平均を下回り、書くことに対する苦手意識を持っている児童が多いという課題が見られました。

＝算数科に関わって＝

○「算数が好き」「算数が得意」「授業の内容がよく分かりますか」という質問に対して、肯定的に回答した児童が全国平均を上回りました。
○「問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか」という質問に対する肯定的な回答が、全国平均を大きく上回りました。
○「どのように考えたのかについて説明する活動を行っていたか」という質問に対しては、あてはまると回答した児童が、全国平均よりも下回っており、テストの結果においても、自分の考えを書く問題の正答率が低かったことから、この点が課題だと言えます。

３．改善に向けて（さらに向上していくために）

◇今後も教師からのポジティブな声掛けや支持的学級風土の醸成に引き続き取り組むことによって、自己肯定感や学習意欲の向上を図っていきます。
◇基礎的な学力の確実な定着のために、練習問題に取り組む時間の確保やＡＩドリル等の積極的な活用に努めていきます。
◇充実した家庭学習に取り組める児童をさらに増やすために、手本となるような家庭学習の掲 示をはじめ、自ら学び粘り強く学習に取り組む態度の醸成を図っていきます。
◇国語、算数ともに、自分の考えを表現することへの苦手意識を持っている児童が多いことか ら、様々な学習場面において、自分の考えや意見を表現する時間を意図的に取り入れていきます。
◇学習の自己調整力を高めるために、国語科を中心として、学校での授業として自己調整学習に 取り組んでいきます (全教科、 全単元ではなく、自己調整学習が有効である単元で取り組みます)。
◇テスト等での間違え直しなど、分からなかった問題をそのままでせずに、しっかりと復習に取り組む指導をしていきます。

４．これからの方向性「学校改善プラン」（概略）

本校では全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果をもとに学力向上をめざして、次のようなプランを立てて改善策に全校で取り組んでおります。

①学習内容の定着及び基礎学力の向上に向けて

○NRT (学力検査)やチャレンジテストを活用して子どもたちの課題を把握し、基礎基本の確実な定着を図るために、指導改善を工夫していきます。
○学習内容をしっかりと定着させるための習熟の時間を確保することや、 学習内容を振り返ることができるようなノート指導に取り組んでいきます。
○4 月に配付した「家庭学習の手引き」を活用しながら、 家庭学習の充実を図っていきます。(ご家庭でもお子様の家庭学習の状況を確認していただければと思います)。

②「個別最適な学び」 と 「協働的な学び」の一体化を目指して

○自己調整学習を手段としつつ、対話が生まれる時間や課題を工夫して設定していきます。
○自分の思いや考えを説明したり発表したりする場を意図的に設定し、言語活動の充実を図っていきます。
○自分の学習について、その時間に何を学んだのか、自分にとって何が課題なのかを振り返る時間を設定します。

③主体的に学び、諦めずにやり抜く力を身につけるための自己指導力を高める教育の推進

○自己調整学習を中心とした授業をとおして、主体的に学びに向かう姿勢を育てていきます。
○それぞれの行事や、委員会活動、日常の当番活動などの中で、主体的に活動する意識を高めていきます。
○今年度の本校の重点目標である「(自分から)やってみようやりぬこう」の合言葉をもとに、それぞれの行事での自分の目標を設定し、 事後には目標を達成できたのかを振り返る時間を設定します。

5．参考資料（よくできた設問・あまりできなかった設問の例）

【国語】

3

一　林さんは、【文章】を読んで、文章の書き方に特徴があることに気づきました。【文章】の特徴として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　疑問や調べたことを、問いと答えの段落に分けて書いている。

2　筆者の生涯を、生まれたときから時間的な

3　登場人物同士の関係を、場面の移り変わり

4　筆者の経験や心の動きを、筆者なりのもの

○よくできた問題
　話や文章の出井とその特徴について理解することができるかどうかをみる問題。資料をしっかりと読んで、文章の特徴をとらえることができた児童が多くいました。

3

三　林さんは、【文章】を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことにしました。次の【話し合いの様子の一部】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

林さん　私は「苦手」と「嫌い」という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の（――部アを示しながら）ここの部分が特に考えさせられたんだ。

小川さん　どんなことを考えたの。

林さん　ここの部分のあとにいろいろな事例が出てくるでしょ。これらの事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえると［　　］ということがあるよ。

小川さん　なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。

林さん　そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えだったけれど、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。

小川さん　ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だからどうしても嫌い」ということもあるだろうし、「得意だけど嫌い」ということもあるんじゃないかなと思うんだけど、どう思う。

～（話し合いが続く）～

(2)　林さんは、小川さんと話し合ったことをもとに、改めて【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめることにしました。あなたなら、【文章】を読んで考えたことをどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○○【文章】を読んで、考えたことを書くこと。
○○【文章】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○　あなたの経験を書くこと。

※次の枠は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解

○よくできた問題
　文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかを見る問題。解答の条件をしっかりと把握し、本文の内容に即した自分の考えを書くことができた児童が多くいました。

2

暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。

なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

●あまりよくできなかった問題
　漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題。３年生で学習した「短」と、４年生で学習した「不」「議」を解答する記述式の問題でしたが、「短い」については多くの児童が正しく書くことができていましたが、「議」については多くの児童が誤答や無解答でした。

1

二　岡野さんたちのグループは、【構成メモ】をもとに、「中①」を次の【動画の一部】のようにさつえいしました。これをよく読んで、あとの(1)から(3)の問いに答えましょう。

(3)　岡野さんたちのグループは、【動画の一部】の中で、〈映像〉だけでは伝わりにくいことを伝えるために、〈音声〉の――部をくふうしました。そのくふうの効果として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

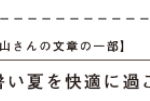
1　鳥をふきこむときのきんちょう感を伝える効果

2　鳥をふきこむときの音を伝える効果

3　鳥をふきこむときのくきの持ち方を伝える効果

4　鳥をふきこむときの鳥の強さを伝える効果

【動画の一部】

〈映像〉	〈音声〉
	岡野・水谷「音を鳴らして遊ぼう。」
	岡野　「みなさん、この音を聞いてください。」 『ピー♪（くき笛の音）』 岡野　「これは何の音だと思いますか。」 水谷　「これはたんぽぽで作ったくき笛の音です。」
	岡野　「どうしたらこんな音が出るんですか。」
	水谷　「くき笛は、たんぽぽの花の部分を取りのぞいて」
	水谷　「片方のくきの先をつぶして作ります。」
	水谷　「つぶした方をくちびるでくわえ、風船をふくらませるように息をふきこむと」 『ピー♪（くき笛の音）』 水谷　「このように音を出すことができます。」
	水谷　「くきの長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。」 『ピー♪（くき笛の音）』『ポー♪（くき笛の音）』
	岡野　「友達といっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。」

○よくできた問題
　比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる問題。問題の内容をしっかりととらえ、適切な選択肢を選ぶことができた児童が多くいました。

2

花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。次の【花山さんの文章の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

一　【花山さんの文章の一部】まで書き進めた花山さんは、読み手もいっしょに考えて読むことができる文章になっているかどうかを確かめています。花山さんの文章のくふうを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　調査の目的や手順、調査結果を順序立てて書いている。

2　結論を最初に述べ、それを支える事例を複数取り上げて書いている。

3　疑問と調べて分かったこと、次の疑問をくり返して書いている。

4　複数の事例の長所と短所を比べて書いている。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1　はじめに

　夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2　どうして暑い日に長そでの服を着るのか

　「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるええん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

　では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3　すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

　「熱中しょうかん境保健マニュアル２０２２」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」、「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

〈図〉



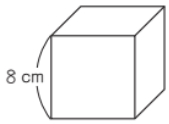
　では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

●あまりよくできなかった問題
　筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる問題。文章全体の構造をとらえることが難しい児童が多くいました。

【算数】

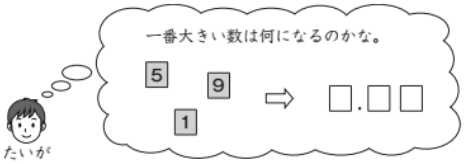
1 立方体や直方体について考えます。

(1) 1辺が8 cmの立方体の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、計算の答えを書く必要はありません。



○よくできた問題
立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる問題。一辺×一辺×一辺の公式をしっかり理解している児童が多くいました。

3 (1) たいがさんは、1 5 9 を引きました。



1、5、9を□に当てはめたときにつくることができる、一番大きい数を書きましょう。

○よくできた問題
小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる問題。十進位取り記数法の仕組みを正しく理解し、条件に合わせて論理的に数を組み立てる力を身につけている児童が多くいました。

4 (2) さくらさんたちは、昔遊びを担当することになり、下のように【昔遊びの計画】を立てました。

【昔遊びの計画】

遊び方について
- 前半と後半に、あやとり、または、かるたで遊ぶ。
- 前半と後半が、同じ遊びでもちがう遊びでもよい。

時間の使い方について

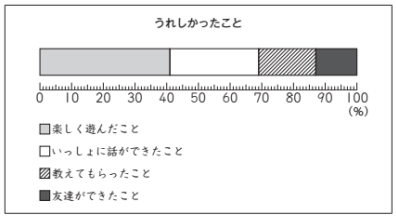


- 全体で使える時間は60分間。
- 準備は最初の5分間。
- 前半と後半の間の休けいは10分間。
- 片付けは最後の5分間。
- 前半と後半の時間は同じ。

【昔遊びの計画】を見ると、「前半」の時間は、何分間ですか。
答えを書きましょう。

○よくできた問題
示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる問題。情報をしっかりと理解したうえで、条件をとらえ、図から正しい答えを導き出すことができた児童が多くいました。

(4) 交流会のあと、さくらさんたちは、1年生にどんなことがうれしかったかについてアンケートをとり、下のグラフにまとめました。



「いっしょに話ができたこと」と回答した人の割合は、全体の約何%ですか。最もふさわしいものを下の ア から エ までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

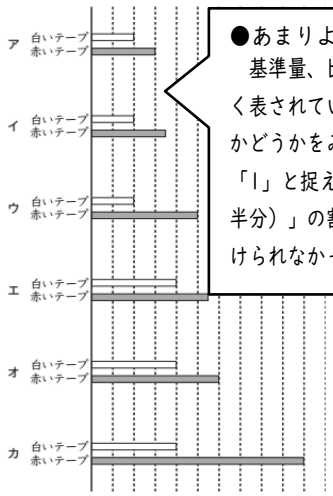
ア 約20%
イ 約30%
ウ 約40%
エ 約70%

○よくできた問題
帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる問題。5年生で学習した割合のグラフのメモリの読み方がしっかりと定着している児童が多くいました。

1 (3) 1 cm^3 の立方体が36個あります。36個をすべて使って、高さが4 cmの直方体を1つ作りました。
その直方体の体積は何 cm^3 ですか。
答えを書きましょう。

●あまりよくできなかった問題
体積の意味について理解しているかどうかをみる問題。体積の定義そのものを捉えられておらず、「文章題＝計算して数字を出さなければいけない」と思い込んでいる児童が多く、誤答が多かったです。

2 (4) 赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図はどれですか。
下の ア から カ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。



●あまりよくできなかった問題
基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる問題。基準となる白を「1」と捉えられず、「1.5倍（1倍と半分）」の割合を図と論理的に結びつけられなかった児童が多くいました。

4 (3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する1年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する1年生にひもをわたします。
わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は ㋐ 人です。
前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は ㋑ 人です。

上の㋐、㋑に入る数を、それぞれ書きましょう。

●あまりよくできなかった問題
二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる問題。㋐と㋑の完全解答の問題のため、㋐が正解でも、㋑が間違いだったため誤答となった児童が多くいました。二次元表の見方が未定着の児童が多くいました。